

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は5,534人で、前年の5,585人から51人減少し、出生率（人口千対）は7.9で、前年の8.0を下回った（全国第25位）。

合計特殊出生率は1.65で、前年の1.68を下回り、全国第3位（昨年
は第2位）であった。第1位は沖縄県（1.94）、第2位は宮崎県（1.72）、
第3位は島根県と熊本県（1.65）、第5位は長崎県（1.64）である。

(2) 死亡数は増加

死亡数は9,572人で、前年の9,513人から59人増加した。死亡率（人
口千対）は13.7で、前年の13.6を上回った（全国第3位）。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、
第3位は脳血管疾患となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ26.8%、
14.3%、9.8%である。本県では平成7年以降、死亡者のおよそ3割の死
因が悪性新生物となっている。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は Δ 4,038人で、前年の Δ 3,928
人から110人減少し、自然増減率（人口千対）は Δ 5.8で、前年の Δ 5.6
を0.2下回った（全国第42位）。本県は平成4年以降、死亡数が出生数
を上回る自然減となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は131胎で前年の138胎より7胎減少し、死産率（出産（出生
＋死産）千対）は23.1で、前年の24.1を下回った。死産率のうち、自
然死産率は9.5（前年は10.0）、人工死産率は13.6（前年は14.2）とな
っている。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、2,992組で、前年の3,114組から122組減少し、婚姻率（人
口千対）は4.3で、前年の4.4を0.1下回った（全国第42位）。

平均初婚年齢は夫30.5歳、妻29.0歳で、夫は前年より0.1歳上昇し、
妻は前年より0.4歳上昇した（全国平均は夫30.9歳、妻29.3歳）。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は1,045組で、前年の1,014組から31組減少し、離婚率は(人口千対)1.50で前年の1.44を上回った(全国第43位)。

表1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成25年	平成24年	対前年 増減	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
出生	5,534	5,585	△51	7.9	8.0	1時間34分58秒	1時間34分6秒
死亡	9,572	9,513	59	13.7	13.6	54分54秒	55分15秒
乳児死亡	13	11	2	2.3	2.0	28日1時間50分46秒	33日4時間21分49秒
新生児死亡	6	6	0	1.1	1.1	60日20時間	60日20時間
自然増減	△4,038	△3,928	△110	△5.8	△5.6	…	…
死産	131	138	△7	23.1	24.1	2日18時間52分12秒	2日15時間28分41秒
自然死産	54	57	△3	9.5	10.0	6日18時間13分20秒	6日9時間41分3秒
人工死産	77	81	△4	13.6	14.2	4日17時間45分58秒	4日12時間8分53秒
周産期死亡	20	19	1	3.6	3.4	18日6時間	19日5時間3分9秒
妊娠22週以後の死産	16	14	2	2.9	2.5	22日19時間30分	26日1時間42分51秒
早期新生児死亡	4	5	△1	0.7	0.9	91日6時間	73日
婚姻	2,992	3,114	△122	4.3	4.4	2時間55分40秒	2時間48分47秒
離婚	1,045	1,014	31	1.50	1.44	8時間22分57秒	8時間38分20秒

	平成25年	平成24年
合計特殊出生率*	1.65	1.68

*分母に用いた人口
5歳階級別総人口(総務省推計)

注:出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産(出生+死産)千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。